

平成30年1月24日
関西国際空港記者会
報道資料提供

問い合わせ先

貝塚市都市整備部
農林課：奥野、鳥飼
代表番号 072-423-2151 内線2546
大阪府泉州農と緑の総合事務所
耕地課：玉田、長谷川、中村
代表番号 072-439-3601 内線291

防災農地・井戸を活用した地域防災訓練を実施します!!

大規模地震による災害を想定し、防災農地・井戸を活用した防災訓練を、1月31日(水)に貝塚市堀地内の防災農地で実施します。

平成7年の阪神・淡路大震災では、家屋の倒壊による被害のほか、水道などのライフラインが破損したことから、火災の発生に際しては消火用水が不足し、後の消火活動に大きな影響を与えました。この訓練は過去の大震災を教訓とし、南海トラフ地震などの大地震発生時に、農地を地域住民の一時避難地として活用するとともに、農業用水を消火用水として活用することを目的として実施します。

訓練では、大規模地震の発生により断水した状況で家屋から火災が発生したことを想定し、防災農地を活用して防災兼用井戸から水をくみ上げ、バケツリレー及び水消火器による初期消火訓練などを行います。

記

貝塚市堀地区「防災農地」

- 日時：平成30年1月31日(水) 午前10時から午前11時 ※小雨決行
- 場所：貝塚市堀地内 防災農地・井戸 (貝塚市堀3丁目267-1番地周辺)
- 主催：貝塚市
協力：堀町会、堀実行組合、津田小学校、貝塚市消防本部、貝塚市消防団第9分団、大阪府泉州農と緑の総合事務所、大阪府ため池総合整備推進協議会、大阪府土地改良事業団体連合会
- 内容：○防災農地への避難訓練
○農業用水を活用した消火訓練
(防災井戸を利用したバケツリレーによる初期消火訓練、消防本部による水消火器を利用した初期消火訓練)

※防災農地とは、防災協力農地登録制度に基づき、農家と市が協定を締結、災害発生時には、農地を避難空間、復旧用資材置場、応急仮設住宅建設用地などに活用するものです。

※写真はイメージです。

防災農地での避難訓練

大規模地震が発生したことを想定して、防災農地への一時避難の訓練を実施します。



バケツリレーによる消火訓練

バケツリレーによる初期消火の訓練を実施します。



水消火器による消火訓練

水消火器を利用した初期消火訓練を実施します。

